

主要産地における平成28年産水稻の生育状況等について 第5報 (6月22日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成28年6月23日)

道府県	生育状況等		同左及び周辺事に対する自治体公表資料等(抜粋)
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等(自治体公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等	
北海道	(生育)	<p>(全道) 生育は平年並(±0)。草丈は28.6cmで平年並、葉数は6.6枚で平年並、葉数は189本/m²で平年より少ない。 (北海道農政部 6月15日現在)</p> <p>(空知) 6月上旬の低温や日照不足により、生育は遅滞した。分けつ始は6月6日、草丈は30.0cmで平年並、葉数は6.8枚で平年並、葉数は203.4本で平年並。(空知総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(石狩) 低温・日照不足により、生育が遅滞(早2日)。草丈は22.7cmで平年並、葉数は5.8枚で平年並、葉数は151.0本で平年並。(石狩総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(後志) 分けつ始は6月12日、草丈は24.9cmで平年並、葉数は5.8枚で平年並、葉数は136.0本で平年並。 (後志総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(胆振) 生育は平年並(±0日)。草丈は29.9cmで平年よりやや長く、葉数は5.7枚で平年より少なく、葉数は122.4本で平年並。 (胆振総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(日高) 生育は平年並(早1日)。草丈は27.3cmで平年並、葉数は6.3枚で平年並、葉数は132.5本で平年より少ない。 (日高総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(渡島) 生育は平年並に推移。分けつ始は6月9日(早1日)。草丈は27.8cmで平年より長く、葉数は6.0枚で平年並、葉数は190.0本で平年より少ない。(渡島総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(檜山) 最高気温が低く日照不足で、葉数が少ない(遅2日)。草丈は23.7cmで平年並、葉数は6.2枚で平年並、葉数は102.7本で平年より少ない。(檜山振興局 6月15日現在)</p> <p>(上川) 生育は平年並に推移している。分けつ始は6月3日(遅2日)。草丈は29.5cmで平年よりやや短く、葉数は7.0枚で平年よりやや少なく、葉数は216.0本で平年より少ない。(上川総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(留萌) 6月上旬の低温と日照不足により生育は鈍化し、平年並となった(早1日)。分けつ始は6月2日、草丈は31.5cmで平年並、葉数は6.9枚で平年並、葉数は170.0本で平年より少ない。(留萌総合振興局 6月15日現在)</p> <p>(オホーツク) 低温曇りにより生育は遅滞(遅2日)。分けつ始は6月12日、草丈は25.5cmで平年よりやや短く、葉数は5.4枚で平年よりやや少なく、葉数は123.7本で平年より少ない。(オホーツク総合振興局 6月15日現在)</p>	<p>・6月のヒトビウカの発生量はやや多く、イネドロオイムシの発生量はやや少なく、フタオビコヤガの発生量は少ないと予想 (北海道病害虫防除所 5月30日公表)</p>
青森	(生育)	<p>(黒石) ・6月10日現在の「つがるロマン」は、草丈は29.3cmで平年より0.9cm短く、株当たり葉数は7.5本で平年並み、葉数は5.9葉で平年並。「青天の霹靂」は、草丈が34.7cmで前年より1.0cm長く、葉数は8.2本で前年より0.2本多し、葉数は5.6葉で前年並みであった。</p> <p>(十和田) ・6月10日現在の「まっしぐら」は、草丈は38.5cmで平年より0.9cm長く、株当たり葉数は11.3本で平年より1.1本多し、葉数は6.4葉で平年より0.4葉多かった。 (青森県産産技術センター農林総合研究所 6月10日付)</p> <p>・6月5日現在の田植進捗は、県全体で100%となった。県全体の田植終わりは平年並の5月28日となった。 (青森県 6月7日付)</p>	<p>・イネミズゾウムシの発生は「やや多い」と予想 (農林水産省 6月21日付)</p> <p>・6月のイネミズゾウムシの発生時期は早く発生量はやや多い、イネドロオイムシの発生時期は早く発生量は平年並と予想 (青森県病害虫防除所 5月31日公表)</p>
岩手	(生育)	<p>・6月15日現在、農業研究センター(北上)の「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」とも、草丈、葉数は概ね平年並みであり、葉数は平年を上回っている。東北農業研究所(絆米)の「いっぺん」については、草丈、葉数は概ね平年並みであり、葉数は平年を下回っている。 (岩手県農業研究センター 6月17日付)</p> <p>・6月15日現在、県全体の生育は、草丈29.8cmで平年より0.7cm短く、葉数は273本/m²で平年よりやや多い(平年比105%)。葉数は7.0葉で平年並(平年並-0.1葉)。 (岩手県 6月16日付)</p>	<p>・6月6日～10日の調査では、一部の圃場の取置苗にいもち病の発生が確認された。(岩手県病害虫防除所 6月13日公表)</p> <p>・6月のいもち病(葉いもち)の発生量は平年並と予想。 イネミズゾウムシ、イネドロオイムシの発生量はやや少ないと予想 斑点米カメムシ類(アサジカスミカメ)は、県中南部を中心にすでに花盛りを迎えているため、草刈りなどの管理を指導。 (岩手県病害虫防除所 6月11日公表)</p>
宮城	(生育)	<p>・6月20日現在、生育は概ね順調であり、葉数(平年並+0.4枚)から見ると平年に比べて2～3日程度進んでいると思われる。草丈は38.8cm(平年比106%)、1m²当たり葉数は406本(平年比105%)であった。【県全体の平均】 (宮城県 6月21日付)</p> <p>(美里) 6月10日現在、生育は概ね順調で、葉数から見ると平年に比べて2～3日程度進んでいるとみられる。 (美里農業改良普及センター 6月14日付)</p> <p>(仙台) 6月10日現在、葉数が平年の同時期よりも1割程度多い傾向。特に、ササニシキでは、葉数が多くなっている。 (仙台農業改良普及センター 6月13日付)</p> <p>(亶理) 6月10日現在、葉数は前年並み、草丈は前年より高くなる傾向がみられる。乾田直播栽培では、苗立ち率は良好で初期には葉数も進んでおり、移植栽培と生育の差は10日程度となっている。湛水直播栽培でも播種後の苗立ち率は高くなっている。(亶理農業改良普及センター 6月13日付)</p> <p>(大崎) 6月10日現在、草丈は、ほぼ平年並。ただし、山間高冷のやまのしずくは平年に比べ長い。葉数は、北部平野のササニシキ及び山間高冷のやまのしずくは、平年を上回っている。他は少ない傾向がみられる。葉数は、ほぼ平年並またはやや少ない傾向が見られる。ただし、北部平野のササニシキが平年に比べ+0.8枚と上回っている。葉色は、ほぼ平年並またはやや濃い傾向が見られる。ただし、北部平野のみやがねもちはやや濃い。 (大崎農業改良普及センター 6月13日付)</p> <p>(大河原) 6月9日現在の生育調査は、生育は、全般的には平年並となっているが、ほ場によっては平年より葉数や葉数が多く、生育が進んでいるところもある。(大河原農業改良普及センター 6月9日付)</p> <p>(栗原) 6月10日現在のひとめぼれは、葉数は平年より多く(平年比+0.6枚)、生育は平年より3～4日程度進んでいる。葉数は平年より多く(平年比133%)、草丈は平年並(平年比102%)、葉色はほ場に比べて差があるが、平年よりやや濃い状況(平年比106%)。(栗原農業改良普及センター 6月14日付)</p> <p>(登米) 6月9日現在の平年に比べ、草丈は平年並～やや長め、葉数は概ね多く、葉数はやや多めで生育は3日程度早く、葉色はほ場によりバラツキがあるがやや濃い。直播栽培は、出芽は良好で初期生育も順調。草丈、葉数、葉数の早さも例年より多い傾向にある。(登米農業改良普及センター 6月10日付)</p> <p>(本吉) 6月10日現在、草丈はほぼ平年並、葉数は0.5～0.9枚多く、平年より4～7日生育が進んでいる。気山沼のひとめぼれでは、葉数は少なく(平年比64%)となっているが、前期(6月1日)の約2倍に増えており、葉色はやや濃く(平年比105%)、生育は順調。南三陸町(ササニシキ)では、葉数はやや多く(平年比100%)、葉色は濃く(平年比117%)となっている。管内の生育も概ね順調で、生育調査と同様に平年より4～7日進んでいると思われる。(本吉農業改良普及センター 6月10日付)</p>	<p>・7月上旬までの葉いもちの発生量は平年並、コハネイナゴの発生時期はやや早く、発生量はやや多いと予想。 (宮城県病害虫防除所 6月22日公表)</p> <p>・ヒトビウカの発生は「やや多い」と予想 (農林水産省 6月21日付)</p>
秋田	(生育)	<p>(由利) 6月10日現在の調査結果(3品種・移植8か所平均)は、草丈は27.5cmで平年よりやや長く(平年比104%)、1m²当たり葉数は212本で平年より多く(平年比107%)、葉数は6.6葉(平年並0.4葉)で生育は平年よりやや進んでいる。移植栽培では分けつが順調に発生し、生育は良好。(6月17日付)</p> <p>(秋田) 6月10日現在、あきたこまち(10地点平均)の草丈は28.0cm(平年比109%)、1m²当たり葉数は216本(平年比127%)、葉数は6.9葉(平年比+0.5)と生育は平年より早く進んでいる。(6月17日付)</p> <p>(北秋田) 6月10日現在のあきたこまちは、草丈27.4cm(平年比107%)、葉数200本/m²(平年比100%)、葉数6.6葉(平年並+0.3)。葉数から見た生育は、平年より2～3日程度進んでいる。(6月17日付)</p> <p>(雄勝) 6月10日現在、あきたこまち(管内15か所平均)の草丈は24.7cm(平年比102%)、葉数は110本/m²(平年比97%)、葉数は5.8枚(平年並-0.1)となっている。(6月17日付)</p> <p>(平鹿) 6月10日の調査結果(あきたこまち11か所)では、草丈が21.9cm(平年比93%)、葉数が102本/m²(平年比85%)、葉数が5.7葉(平年比+0.1葉)となっている。(6月13日付)</p> <p>(鹿角) 6月10日の定時調査では、草丈が26.8cm(平年比105%)で長く、葉数が191本/m²(平年比109%)で多く、葉数が6.1葉(平年並+0.5葉)で平年並となった。(6月10日付)</p> <p>(山本) 6月10日現在、草丈27.7cm(平年比113%)、葉数181本/m²(同比134%)、葉数6.4(同並+0.4葉)となっている。(6月10日付)</p> <p>(仙北) 耕起作業は5月10日現在で83.5%(平年83.1%)の進捗となっている。4月下旬の降雨等により、耕起作業に若干遅れが見られたものの、作業は概ね順調に進んでいる。直播栽培の移植作業は今週末に盛りを迎える見込み。(5月13日付) (秋田県農政課)</p>	<p>・イネミズゾウムシの発生は「多い」、斑点米カメムシ類の発生は「やや多い」と予想 (農林水産省 6月21日付)</p> <p>・6月の葉いもちの感染量は平年並、ほか苗圃の発生量は平年並の予想。 イネミズゾウムシの発生時期は早く、発生量は多いと予想。 イネドロオイムシの発生量は少なく、イネギキバエとイネカメムシ類の発生量はやや少ないと予想 (秋田県病害虫防除所 5月27日公表)</p>
山形	(生育)	<p>・6月20日現在、平坦部「はえぬき」の生育は、平年と比較して、草丈がやや長く、葉数、葉数、葉色は平年並みとなっている。生育は平年より1日程度進んでいる。 「つや姫」の生育は、平年と比較して、草丈、葉数、葉色は平年並みで、葉数は平年よりやや少なく、概ね指標並みとなっている。 (オールやまがた米づくり日本一運動本部 6月20日付)</p> <p>(鶴岡田川) 6月15日現在、「つや姫」は平年より葉数は多く、葉数は進んでいる。(庄内総合支庁農業技術普及課 6月17日付) 6月10日現在、直播栽培の生育は、昨年よりもやや遅れているものの、概ね指標並みの生育となっている。 (庄内総合支庁農業技術普及課 6月14日付)</p> <p>(置賜) 草の活着は良く、生育も順調に進んでいる。(置賜地域本部実証班 6月7日付)</p> <p>(酒田飽海) 6月10日現在、生育は順調で平年並に推移している。湛水直播栽培の生育は順調だが、一部葉がやや過剰になっている圃場もみられる。(酒田農業技術普及課 6月14日付)</p> <p>5月31日現在の「つや姫」の生育は平年より2～3日早く、葉数が急増中。草丈は平年並～長く、葉数は平年並～多く(バラツキが見られるが急増中)、葉数の展開は2～3日早い。(酒田農業技術普及課 6月1日付)</p> <p>(東南村山) 6月10日現在の「つや姫」は、ほ場による生育の差が大きい。(村山総合支庁農業技術普及課 6月13日付) 6月10日現在の草丈はやや長く、葉数は平年並～やや少なく、圃場によっては生育に大きな差が見られる。(村山総合支庁農業技術普及課 6月13日付)</p> <p>(最上) 生育はほ場ごとばらつきが大きくなっている。 (最上総合支庁農業技術普及課 6月15日付)</p> <p>(北村山) 田植は、始期5月14日、盛期5月21日、平年並に順調にすすんだ。(北村山農業技術普及課 5月26日付)</p> <p>(西村山) 田植は適期は、5月25日頃までを目安に指導。(村山総合支庁西村山農業技術普及課 5月10日付)</p> <p>(置 懸) 気温の高い日が続くこと予想され、苗焼けや水の伸びすぎないよう温度管理を指導。田植の適期は5月15日～20日頃。つや姫の田植は5月20日まで。(置懸総合支庁 5月6日付)</p>	<p>・斑点米カメムシ類の発生は「やや多い」と予想 (農林水産省 6月21日付)</p> <p>・6月の葉いもちの発生時期、発生量ともに平年並、斑点米カメムシ類の発生量はやや多いと予想。 (山形県病害虫防除所 6月1日公表)</p>
福島	(生育)	<p>・6月14日現在の農業総合センターの生育調査では、本部(郡山)と会津地域研究所(会津坂下)で草丈、葉数ともに平年並、浜地域研究所(相馬)で草丈、葉数ともに平年を上回っている。主要葉数は、平年並から多くなっている。 (福島県農林水産部 6月16日付)</p>	<p>・6月の葉いもちの発生量は平年並、イネドロオイムシの発生時期は早く発生量は平年並、イネヒメハエグリ工の発生量はやや少なく、イネミズゾウムシの発生時期は早く発生量は平年並からやや少ないと予想 (福島県病害虫防除所 5月27日公表)</p>

	生育状況等	周辺及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）
茨城	<p>(水戸市) 6月20日現在、5月22日に移植した「あきたこまち」は、幼穂の発育程度および積算平均気温から予測される出穂期は7月16～17日で平年並～1日遅い。主穂葉数の展開からみた「コンヒカリ」の生育は平年並。平年と比べ、草丈は「あきたこまち」でやや短く、「コンヒカリ」で短い。葉数は「あきたこまち」で並、「コンヒカリ」でやや少ない。葉色は「あきたこまち」で並、「コンヒカリ」でやや濃い。</p> <p>5月10日に移植した「コンヒカリ」は、主穂葉数の展開からみた生育は平年より1日遅い。平年に比べ草丈はやや低く、葉数は極多、葉色は並。(6月21日付)</p> <p>6月6日現在、主穂葉数の展開からみた生育は、4月27日に移植した「あきたこまち」、「コンヒカリ」ともに平年より5日程度進んでいる。平年に比べ、商品種の草丈は極く長く、葉数は「あきたこまち」で極く多く、「コンヒカリ」で多い。また、商品種とも葉色はやや濃い。</p> <p>5月6日に移植した「あきたこまち」、「コンヒカリ」の生育は、平年より2～3日進んでいる。平年に比べ、商品種の草丈は長く、葉数は「あきたこまち」で多く、「コンヒカリ」で極く多い。商品種とも葉色は平年並。(茨城県農業総合センター農業研究所)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イネミズゾウムシの発生が「やや多い」と予報 (農林水産省 6月21日付) ・注意報—イネ緑葉枯病（ヒメトビウカ）の発生量が県西地域、県南の一部地域が多いと予報 (茨城県病害虫防除所 6月9日公表) ・6月の緑葉枯病（ヒメトビウカ）は、県西地域と県南の一部地域で平年より発生時期が早く、発生量は多いと予報。ニカメイガは、県下全域で発生時期が早く、発生量は多いと予報 (茨城県病害虫防除所 5月31日公表)
栃木	<p>6月8日現在、早稲栽培コンヒカリの生育状況は、草丈はやや長く（平年比104%）、葉数はやや少なく（97%）、葉齢は0.3葉多く、葉色は0.3濃い。葉齢から判断して、生育は2日程度進んでいると考えられる。生育診断値（葉色×葉数）は平年比90%と小さい。(栃木県農政部 6月10日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緑葉枯病、ヒメトビウカの発生が「やや多い」と予報 (農林水産省 6月21日付) ・6月下旬～7月上旬の緑葉枯病の発生量は多いと予報 (栃木県農業環境指導センター 6月17日公表) ・注意報—イネ緑葉枯病が、県中南部地域で発生量が多いと予報。一部地域でニカメイガの多発生を懸念。第1世代幼虫の防除時期は、6月上旬～中旬と予報 (栃木県農業環境指導センター 6月1日公表)
埼玉	<p>6月1日現在、早期栽培（5月2日種 ンヒカリ）の苗の徒長などは見られず、概ね平年並の苗が得られた。活着は良好。初期生育は良好で、移植後20日調査では、葉位の進展は早く、生育量も平年を上回った。移植後30日調査では、やや抑制気味となったが、概ね平年並の順調な生育である。早稲栽培（5月20日種 彩のかがやき）は、充実度の高い良苗が得られた。活着は良好であり、その後の生育も順調。県内全般の早期栽培では、活着は良好で初期生育は順調。早稲栽培では5月中旬以降、苗の生育遅れから移植が遅れ気味となったが、概ね前年並に推移し、活着は良好で初期生育は順調。(埼玉県農業技術研究センター 6月1日現在)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緑葉枯病の発生が「多い」、ヒメトビウカ、いもち病の発生が「やや多い」と予報 (農林水産省 6月21日付) ・6月の葉いもちの発生量はやや多く、ニカメイガの発生時期はやや早く発生量もやや多い、イネミズゾウムシの発生時期は早く発生量は平年並、イネドロオシムシの発生量は少なく、ヒメトビウカの発生量はやや多く、緑葉枯病の発生量は多いと予報 (埼玉県病害虫防除所 5月27日公表)
千葉	<p>6月15日現在、4月20日頃に播いた各品種は、平年と比較して3日程度早く生育しているが、生育量は平年並となっている。ただし、播付直後に強風や一時的な低温にあった区画では生育差が見られている。(千葉県農林水産部 6月17日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・向こう1か月の病害虫の発生量は、いもち病（葉いもち）は平年並、イネドロオシムシは少なく、イネウロカメムシとヒメトビウカはやや多く、セジロウカとコバエイナゴは平年並の予報 (千葉県農林総合研究センター 6月9日公表) ・5月下旬に行った調査では、16地点でヒメトビウカ成虫が捕獲され、過去11年で昨年に次いで2番目に多く、7地点は県北西部で合った。(千葉県農林総合研究センター 6月9日公表) ・イネ緑葉枯病、イネミズゾウムシの発生が「やや多い」と予報 (農林水産省 5月24日付)
新潟	<p>6月20日現在、コンヒカリは、県平均では指標値に比べ、葉数の進みはやや早く、草丈は長い。葉数は多く、葉色はやや濃い状況。こしいぶきは、県平均で指標値に比べ、葉数の進みは早く、草丈は長い。葉数は多く、葉色はやや濃い状況。コンヒカリの県内15か所の平均値は、草丈42cm（指標値比114%）、葉数444本/m²（同比119%）、葉数9.1葉（同差+0.7葉）、葉色（SPAD値）39.8（同差+1.2）。(新潟県農林水産部 6月21日公表)</p> <p>(岩 船) 6月20日現在、高温の影響で生育が進んでおり、草丈はやや長くもなっている。葉数は地域差はあるものの、平年よりやや多く、葉色は並～やや早、葉色は指標値並～やや濃くなっている。(村上農業普及指導センター 6月20日現在)</p> <p>(新発田) 6月20日現在、生育は指標値に比べ4日程度進んでいる。草丈は長く（40cm 指標値比117%）、葉数は多く（414本/m² 同比118%）、葉数は多く（8.9葉 同差+1.2）、葉色は濃い（葉緑素計40.6 同差+3.1）。(新潟県農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(新潟) 6月20日現在、草丈は長く、葉数も多く、葉色も濃くなっており、品質低下が懸念される。早生の出穂は前年並に早く、平年より2日程度早まる予想。目標値と比べて、コンヒカリの生育は、草丈・長、葉数・多、葉齢・並、葉色・濃、こしいぶきの生育は、草丈・長、葉数・やや多、葉齢・早い、葉色・濃、新之助の生育は、草丈・長、葉数・やや多、葉齢・並、葉色・濃。(新潟県農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(三条) 6月20日現在、コンヒカリとこしいぶきの草丈は高夜温等の影響で長草化し、葉色は断続的な降雨により濃くなっている。特に、こしいぶきの生育は指標値に比べ、2～3日程度進んでいる。(三条農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(長 岡) 6月20日現在、生育ステージは早まっている。コンヒカリの生育は、指標値に比べ草丈は長く（指標値比118%）、葉数は多く（同比122%）、葉数は早い（同差+1.1）、葉色はやや濃い（同差+1.6）。6月15日現在、コンヒカリの幼穂形成期は、昨年並の7月10日と予想される。(長岡農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(南魚沼) 6月20日現在、草丈は長く（41cm 指標値比118%）、葉数は多く（415本/m² 同比149%）、葉色は濃く（SPAD値40.9 同差+2.9）、葉数は多く（8.7葉 同差+1.2）、過剰生育傾向となっている。(南魚沼農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(柏 崎) 6月20日現在、平均値コンヒカリは指標値と比べ、草丈・長、葉数・多、葉色・並。中山間地コンヒカリは生育順調。こしいぶきは葉数が多く、過剰生育傾向。(柏崎農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(上 越) 6月20日現在、コンヒカリの生育は、前年並みに早く進んでいる。草丈は長く（指標値比127%）、葉数は多く（同比137%）、過剰生育により倒伏や品質低下が懸念される。こしいぶきもコンヒカリ同様に草丈が長く、葉数が多くなっている。(上越農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(新 津) 6月20日現在、コンヒカリ、こしいぶきとも指標値と比べ、草丈はやや長くも、葉数はやや多も、葉数はやや多も、葉色はやや濃いも。生育は全般的に良好だが、地域差が大きい。一部で過剰生育となっている。出穂期は、平年より2日後の予定である。(新潟県農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(巻) 6月9日現在、生育が早く、葉数の多い状況が続いている。ワキ等により下葉に傷みが見られる場合が目立っている。生育量の伸びはやや鈍化した。依然として葉数の進みは指標値より3～4日程度早く、葉数も多い。草丈はやや長く、葉色は平年並。(巻農業普及指導センター 6月9日付)</p> <p>(佐 渡) 6月9日現在のコンヒカリの生育は、草丈、葉数は平年並、葉色は指標値よりやや遅れている。草丈は30cm（指標値比100%）、葉数は255本/m²（同比113%）、葉数は6.6葉（同差-0.6葉）、葉色は36.1（同差-1.9）。(佐渡農業普及指導センター 6月9日付)</p> <p>(魚 沼) 田植え後の好天により、葉数は順調に増えており、生育が早まっている。(A北魚沼・魚沼農業普及指導センター 6月1日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の病害虫の発生量は、葉いもちは平年並、ニカメイガ第1世代は平年並～やや少なく、ツマグロコバエは平年並～やや多く、イネドロオシムシは平年並～やや少なく、イネミズゾウムシは平年並の予報 (新潟県病害虫防除所 5月31日公表)
富山	<p>生育観測データ(6月14日現在)</p> <p>(コンヒカリ) 平年に比べて、草丈はやや長く、葉数はかなり多くなっている。葉齢は、8.7葉（平年並+0.5葉）となり、生育は平年に比べ2日程度早まっている。(てんたか) 平年に比べて、葉齢が進んでおり、草丈は長く、葉数は多くなっている。(てんたか) 平年に比べて、葉齢が進んでおり、草丈はやや長く、葉数はかなり多くなっている。(富山県農業技術 広域普及指導センター 6月14日付)</p> <p>(生育) 直接情報(6月17日現在)</p> <p>渚水と中直稲栽培(カナル)の生育は、平年に比べて草丈はやや長く、葉数はかなり多く、葉色は並となっている。葉齢は平年より0.7葉程度進んでおり、生育は平年に比べ3日程度早まっている。渚水前面稲栽培(後)の生育は、近年に比べて草丈は並み、葉数はかなり多く、葉色は淡く推移している。(富山県農業技術 広域普及指導センター 6月17日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紋枯病、斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予報 (農林水産省 6月21日付) ・注意報—斑点米カメムシ類の発生が県下全域で多いと予報 (富山県農林水産総合技術センター 6月21日公表) ・6月の葉いもちは平年並、紋枯病は多いと予報。斑点米カメムシ類の発生量は、アカヒゲホシドリカミカメはやや多く、アカシジカミカメは多く、トゲシラホシカメムシは平年並の予報。ニカメイガの発生量は平年並、イネミズゾウムシはやや多く、イネドロオシムシは少なく、ツマグロコバエは平年並の予報 (富山県農林水産総合技術センター 6月1日公表)
石川	<p>(6月17日現在の生育状況)</p> <p>・葉数は、コンヒカリが加賀地域で平年比97～116%（平均107%）、能登地域で平年比103～129%（平均113%）と、加賀地域では平年並、能登地域は平年比に比べて多く、葉数の増加程度は前回調査と概ね同様となっている（県平年比109% 前回県平年比111%）。ゆめみづほは、加賀地域は近年並（平均109%）、能登地域は多くなっており（平均120%）、県内全域でゆめみづほが多くなっている区画が散見される。葉数の増加程度は前回調査と概ね同様となっている（県近年比112% 前回県近年比114%）。</p> <p>・葉齢は、コンヒカリが加賀地域で0.2葉（-0.4～+0.7葉）、能登地域で0.3葉（+0.4～+1.0葉）。県平均では0.3葉となっている。ゆめみづほでは加賀地域で+0.3葉（-0.2～+0.9葉）、能登地域で+0.6葉（+0.3～+1.0葉）。県平均では+0.4葉となっている。葉齢順からみた生育の遅延は、コンヒカリで平年に比べて～2日程度早く、ゆめみづほは前年並、ゆめみづほは4年と比べて2～4日程度早く概ね前年並と見られる。</p> <p>・加賀地域平坦部の田植えの早いゆめみづほが幼穂が確認されている（幼穂長0.2～1.0mm）。</p> <p>・草丈は、コンヒカリが平年比104～116%（平均108%）と平年に比べてやや長く、ゆめみづほは近年比106～117%（平均113%）と長い。</p> <p>・葉色（葉色値）の発生は、コンヒカリが4.5（平年比100%）と平年並、ゆめみづほで4.8（近年比100%）と近年並となっている。(石川県農林水産部農林総合研究センター 6月17日調査)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・斑点米カメムシ類の発生が「多い」、紋枯病の発生が「やや多い」と予報 (農林水産省 6月21日付) ・6月下旬～7月上旬の葉いもちの発生量は平年並、紋枯病の発生量はやや多いと予報。斑点米カメムシ類の発生量は多く、セジロウカ、コバエイナゴの発生量は平年並と予報。 ・注意報—斑点米カメムシ類の発生量が県内全域で多いと予報 (石川県農林総合技術センター 6月16日公表)
福井	<p>6月15日現在、コンヒカリ、ハナエサザンともに草丈はやや長く、葉数もやや多い。(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月16日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紋枯病の発生が「多い」と予報 (農林水産省 6月21日付) ・6月のいもち病、紋枯病の発生量は平年より多く、ニカメイガ、イネミズゾウムシ、イネゾウムシ、イネドロオシムシ、イネホマモグリバエの発生量は平年より少ないとの予報 (福井県農業試験場 5月30日公表)

	生育状況等	間左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）
長野	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月16日現在、豊科定点圃場（5月16日田植）では、草丈は平年よりやや長く、莖数は平年並～やや少ない傾向。活着～初期生育は概ね良好で、5月上旬に移植された水田では、過割分けつ気味の水田もある。（松本農業改良普及センター） 	<ul style="list-style-type: none"> 紋枯病、斑点米カメムシ類の発生が「やや多い」と予報（農林水産省 6月21日付） 向こう1ヶ月間の葉いもち、綿葉枯病・黒条萎縮病、ツマグロヨコバイ、イネドロオシムシの発生量は平年並、ニカメイチュウ、ウエシバシ、イネミスズコムシの発生量はやや少く、イナゴの発生量は平年並～やや多いと予報（長野県病害虫防除所 6月15日公表）
滋賀	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月14日現在、みずかがみの生育ステージは、他品種と同様に早く進んでいるが、昨年と比べるとやや遅いと見込まれる。（滋賀県農業技術振興センター 6月16日付） 5月31日現在、移植後は高温に経過したことから、活着は良好で初期生育は順調に進んでいる。草丈は、「コシヒカリ」が平年よりやや長く、「秋の詩」が平年よりやや短かった。莖数は、両品種ともに平年よりかなり多かった（平年の約1.5倍）。葉数は、両品種ともに平年より0.7枚多かった。 4月下旬～5月上旬移植のみずかがみは、すでに目標莖数（60株植：16本/株、70株植：14本/株）に達しているほ場が多い。 5月中旬移植のみずかがみは、分けつ盛期になっている。（滋賀県農業技術振興センター 6月3日付） 	<ul style="list-style-type: none"> 葉いもちの発生量は平年並、紋枯病の発生量はやや多く、コバネイナゴの発生量はやや少ないと予報（滋賀県病害虫防除所 6月21日公表）
兵庫	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月26日現在、県北は本田での生育は順調、県南は苗の生育は順調。（兵庫県農政環境部 5月30日付） 	<ul style="list-style-type: none"> ヒメトビウカの発生が「やや多い」と予報（農林水産省 6月21日付） 6月の葉いもちの発生量は平年並、ヒメトビウカ、セジロウカ、トビロウカの発生量はやや多いとの予報（兵庫県病害虫防除所 6月2日公表）
岡山		<ul style="list-style-type: none"> 6月の葉いもちの発生量は平年並、ヒメトビウカ、ツマグロヨコバイの発生量は少、ニカメイガの発生量は平年並の予報（岡山県 6月1日公表）
広島		
山口	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月上旬の移植では、莖数は昨年とほぼ同様の状況。5月下旬以降移植分の活着は良好。移植後の高温、根傷みでの葉の黄化などが一部にみられる。移植して深水が続いているところは、徒長気味の生育になっている。（JA長門大津、長門農林事務所農業部 6月11日付） 	<ul style="list-style-type: none"> イネいもち病の発生量は県内全域で多いと予想（山口県病害虫防除所 6月20日公表） 6月の綿葉枯病の発生量は平年並の予報（山口県病害虫防除所 6月1日公表）
愛媛	<p>(田植)</p> <ul style="list-style-type: none"> 普通期水稲の平坦地における移植適期は、にこまるが6月中旬、ヒノヒカリが6月中下旬。（愛媛県農林水産研究所 5月31日付） 	<ul style="list-style-type: none"> 6月のいもち病（葉いもち）の発生量は平年並～やや多く、ツマグロヨコバイ、ヒメトビウカ、セジロウカ、トビロウカの発生量は平年並と予報（愛媛県病害虫防除所 5月30日公表）
高知	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 早期水稲（5月25日現在） 4月5日植えの「南国そだち」は、平年より草丈が長く、莖数はやや多め、葉齢でみた生育進度は早く、幼穂形成期は5月24日で、平年より5日早く進んでいる。 4月5日植え「コシヒカリ」は、平年より草丈は長く、莖数が多く、生育進度はやや早く進んでいる。 4月14日植え「コシヒカリ」は、平年より草丈はやや長く、莖数がやや多め、生育進度は平年並み。（高知県農業技術センター 6月1日付） 	<ul style="list-style-type: none"> 6月のいもち病の発生量は平年並、ツマグロヨコバイの発生量は県中央部で多く、県東、県中部、県西部では平年並、セジロウカ、ヒメトビウカの発生量は平年並と予報（高知県病害虫防除所 6月3日公表）
福岡	<p>(田植)</p> <ul style="list-style-type: none"> 早期水稲（夢つくし、コシヒカリ） 田植え時期は平年並みで、6月15日には終了している。田植え後の高温より初期生育は順調。 普通期水稲（夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリ） 苗の生育は順調。高温対策のため田植えは「夢つくし」が6月上旬、「元気つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」が6月下旬を中心に行われる見込み。（福岡県農林業総合試験場 平成28年5月16日専技情報より抜粋） 	<ul style="list-style-type: none"> イネ綿葉枯ウイルス保毒率の保毒率は、平均1.1%で、年々低下傾向にある。（福岡県病害虫防除所 6月1日）
熊本		<ul style="list-style-type: none"> 6月の早期・早植水稲のいもち病（葉いもち）の発生量は平年並の予報（熊本県病害虫防除所 5月31日公表）
宮崎	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 早期米生育状況 分けつ前期を迎えており、平年より1日早い進度。草丈はやや高く、莖数は平年並みで、やや徒長気味ではあるが、概ね順調に生育している。（JA宮崎経済連ホームページ「平成28年産早期米生育情報」6月7日付） 早期水稲 5月1日現在の生育ステージ（県全体） 分けつ前期～分けつ期を迎えており、平年よりやや早い進度。草丈は平年より高く、莖数は平年並み、葉齢は平年より早く進んでいる。気温が高く日照時間が短くなっているところは、草丈が高くなっているが、生育は概ね順調。 (中部地区) 分けつ前期で、平年より1日早い進度。草丈は平年より高く、莖数は平年並み、葉齢は平年よりやや早く進んでいる。生育は概ね順調。 (南部地区) 分けつ前期で、平年より3日程早い進度。気温が高く日照時間が長くなっていることから、草丈が高くなっている。病害虫等の障害も少なく、生育は概ね順調。 (児湯地区) 分けつ前期で、平年並みの進度。4月下旬は平年より降水量が多く、日照時間が短くなった。29日以降は晴天が続く、生育スピードが回復しつつあるが、3月中旬に移植した地域では分けつ数が少なく、草丈は高くなっている。 (東臼杵南部地区) 分けつ期で、平年より1～2日程早い進度。日照時間は平年に比べて少ないものの、平均気温は平年に比べて高く、分けつも旺盛で生育は良好。降水量は平年より多く推移している。（JA宮崎経済連ホームページ「宮崎県産早期米産地情報」6月7日付） 	<ul style="list-style-type: none"> 6月の早期水稲の葉いもちの発生量は平年並の予報。（宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月30日公表）
鹿児島		<ul style="list-style-type: none"> 6月1～3日の調査結果では、早期水稲の斑点米カメムシ類の発生量がやや多いとの予報（鹿児島県病害虫防除所6月6日） 6月の早期水稲のいもち病、紋枯病の発生量は平年並の予報（鹿児島県病害虫防除所 5月30日公表）

注1：地方自治体及び出先機関並びにJA等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：生産数量目標、収穫量、作況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	参考 生産数量目標				収穫量（主食用） 27年産	作況指数 27年産
		平成28年産	前年産との比較	増減率	自主的取組参考値（深緑）		
		t	t	%	t		
全 国	<ul style="list-style-type: none"> 6月18日～7月17日の1か月間は、全国的に期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みで、向こう1か月の気温は高い見込み。北日本日本海側では、平均気温は高く、降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。北日本太平洋側と東・西日本日本海側では、気温は高く、降水量は平年並みか多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。東・西日本太平洋側では、平均気温は高く、降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並か多い見込み。（気象庁 6月16日発表） 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 北海道を除く各地方で、6月21日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（気象庁 6月16日発表） 2014年度に発生したエルニーニョ現象は、2016年春に終息したとみられる。今後、夏の間にラニーニャ現象が発生し、秋にかけて続く可能性が高い。インド洋熱帯域の海面水温は基準値より高い値が続いており、今後秋にかけて次第に基準値に近づくと予測される。（気象庁 地球環境・海洋部 6月10日発表） （6～8月の3か月間の見通し） 6月は、北日本と東日本日本海側では、期間の後半は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。東日本太平洋側、西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。気温は、北・東・西日本で平年並または高く、降水量は、西日本太平洋側で平年並か多い見込み。7月は、北・東日本では、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。西日本では、期間の前半は平年と同様に曇りや雨の日が多く、期間の後半は平年と同様に晴れの日が多い見込み。沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。気温は、北・東・西日本でほぼ平年並で、沖縄・奄美では高い見込み。降水量は、北・東・西日本で平年並か多い見込み。8月は、北日本では、気温はほぼ平年並、東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。気温は、東日本で平年並か高く、西日本と沖縄・奄美で高い見込み。降水量は、北日本で平年並か多い見込み。（気象庁 5月28日発表） 	7,430,000	▲ 80,000	▲ 1.1	7,350,000	7,442,000	104
北 海 道	<ul style="list-style-type: none"> 北海道地方の6月18日～7月17日の1か月間は、1週目の気温は高く、向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は日本海側で多く、オホーツク海側と太平洋側で平年並か多い見込み。日照時間は日本海側とオホーツク海側で平年並か少なく、太平洋側でほぼ平年並の見込み。（札幌管区気象台 6月16日発表） 	541,500	▲ 5,830	▲ 1.1	535,669	559,600	104
青 森	<ul style="list-style-type: none"> 東北地方の6月18日～7月17日の1か月間は、気温は高く、降水量は日本海側で多く、太平洋側で平年並か多く、日照時間は日本海側で平年並か少なく、太平洋側でほぼ平年並の見込み。 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 東北地方では、6月21日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+2.6℃以上） 今後1週目から2週目にかけて、気温の高い状態が続く見込み。（仙台管区気象台 6月16日発表） 	239,877	▲ 2,583	▲ 1.1	237,294	229,800	105
岩 手	同上（仙台管区気象台 6月16日発表）	268,321	▲ 2,889	▲ 1.1	265,432	269,400	105
宮 城	同上（仙台管区気象台 6月16日発表）	344,906	▲ 3,714	▲ 1.1	341,193	348,400	103
秋 田	同上（仙台管区気象台 6月16日発表）	413,092	▲ 4,448	▲ 1.1	408,644	419,400	103
山 形	同上（仙台管区気象台 6月16日発表）	340,830	▲ 3,670	▲ 1.1	337,160	354,300	103
福 島	同上（仙台管区気象台 6月16日発表）	335,933	▲ 3,617	▲ 1.1	332,316	342,600	101
茨 城	<ul style="list-style-type: none"> 関東甲信地方の6月18日～7月17日の1か月間は、期間の前半は気温がかなり高く、向こう1か月の気温は高い見込み。日照時間は平年並か多い見込み。期間の前半は少雨の状態が続くところがあり、向こう1か月の降水量はほぼ平年並の見込み。（気象庁 6月16日発表） 関東甲信地方では、関東地方北部や伊豆諸島を中心に、5月上旬から、降水量の少ない状態が続いているところがある。5月1日から6月16日までの各地の降水量は、平年の50パーセント程度と平年を大きく下回っているところがある。今後2週間程度も、まとまった雨の降る可能性は小さく、少雨の状態が続く見込み。（気象庁 6月17日発表「少雨に関する関東甲信地方気象情報 第2号」） 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 関東甲信地方では、6月21日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+2.5℃以上） 今後1週目から2週目にかけて、気温の高い状態が続く見込み。（気象庁 6月16日発表） 	333,776	▲ 3,594	▲ 1.1	330,182	345,400	96
栃 木	同上（気象庁 6月16日発表）	295,508	▲ 3,182	▲ 1.1	292,326	287,300	98
埼 玉	同上（気象庁 6月16日発表）	149,659	▲ 1,611	▲ 1.1	148,047	152,200	97
千 葉	同上（気象庁 6月16日発表）	243,864	▲ 2,626	▲ 1.1	241,239	297,500	101
新 潟	<ul style="list-style-type: none"> 北陸地方の6月18日～7月17日の1か月間は、気温は高く、降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 北陸地方では、6月21日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+2.1℃以上） 北陸地方では、1週間気温の高い状態が続いており、今後も1週目から2週目にかけて、気温の高い状態が続く見込み。（新潟地方気象台 6月16日発表） 	515,737	▲ 5,553	▲ 1.1	510,184	539,600	97
富 山	同上（新潟地方気象台 6月16日発表）	183,672	▲ 1,978	▲ 1.1	181,695	191,200	103
石 川	同上（新潟地方気象台 6月16日発表）	122,313	▲ 1,317	▲ 1.1	120,996	123,200	101

気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）		t	t	%	t	t	t
福井	同上（新潟地方気象台 6月16日発表）	124,124	▲ 1,336	▲ 1.1	122,787	123,800	99
長野	<ul style="list-style-type: none"> 関東甲信地方の6月18日～7月17日の1か月間は、期間の前半は気温がかなり高く、向こう1か月の気温は高い見込み。日照時間は平年並が多い見込み。期間の前半は少雨の状態が続くところあり、向こう1か月の降水量はほぼ平年並の見込み。（気象庁 6月16日発表） 関東甲信地方では、関東地方北部や伊豆諸島を中心に、5月上旬から、降水量の少ない状態が続いているところがある。5月1日から6月16日までの各地の降水量は、平年の50パーセント程度と平年を大きく下回っているところがある。今後2週間程度も、まとまった雨の降る可能性は小さく、少雨の状態が続く見込み。（気象庁 6月17日発表「少雨に関する関東甲信地方気象情報 第2号」） 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 関東甲信地方では、6月21日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+2.5℃以上） 今後1週目から2週目にかけて、気温の高い状態が続く見込み。（気象庁 6月16日発表） 	191,933	▲ 2,067	▲ 1.1	189,867	194,500	97
滋賀	<ul style="list-style-type: none"> 近畿地方の6月18日～7月17日の1か月間は、気温は高く、降水量は日本海側で平年並が多く、太平洋側ではほぼ平年並、日照時間は日本海側ではほぼ平年並、太平洋側で平年並が多い見込み。 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 近畿地方では、6月21日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+2.0℃以上） 6月15日までの1週間は気温がかなり高くなった。今後も1週目から2週目にかけて、気温の高い状態が続く見込み。（大阪管区気象台 6月16日発表） 	158,741	▲ 1,709	▲ 1.1	157,032	158,500	100
兵庫	同上（大阪管区気象台 6月16日発表）	178,518	▲ 1,922	▲ 1.1	176,596	178,900	99
岡山	<ul style="list-style-type: none"> 中国地方の6月18日～7月17日の1か月間は、期間の前半は、気温がかなり高くなる見込み。1週目と2週目の気温はともに高く、3～4週目は平年並が高く、向こう1か月を平均した気温も高い見込み。降水量は、山陰で平年並が多く、山陽ではほぼ平年並の見込み。日照時間はほぼ平年並の見込み。 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 中国地方では、6月21日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+2.1℃以上） 6月15日までの7日間平均気温平年差は、+1.7℃でかなり高いとなり、今後も1週目から2週目にかけて、気温がかなりの高くなる見込み。（広島地方気象台 6月16日発表） 	156,861	▲ 1,689	▲ 1.1	155,172	149,500	96
広島	同上（広島地方気象台 6月16日発表）	128,585	▲ 1,385	▲ 1.1	127,201	121,700	96
山口	<ul style="list-style-type: none"> 九州北部地方（山口県含む）の6月18日～7月17日の1か月間は、期間の前半は気温がかなり高く、向こう1か月の気温は高くなる見込み。降水量は多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 九州北部地方（山口県含む）では、6月21日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+1.8℃以上） 6月15日までの1週間は、気温がかなり高い状態が続いており、今後も1週目から2週目にかけて、かなりの高くなる見込み。（福岡管区気象台 6月16日発表） 	107,601	▲ 1,159	▲ 1.1	106,443	100,700	97
愛媛	<ul style="list-style-type: none"> 四国地方の6月18日～7月17日の1か月間は、期間の前半は気温がかなり高くなり、向こう1か月の気温も高い見込み。降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 四国地方では、6月21日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+1.7℃以上） （高松地方気象台 6月16日発表） 	73,133	▲ 787	▲ 1.1	72,345	71,200	98
高知	同上（高松地方気象台 6月16日発表）	49,537	▲ 533	▲ 1.1	49,003	52,800	96
福岡	<ul style="list-style-type: none"> 九州北部地方（山口県含む）の6月18日～7月17日の1か月間は、期間の前半は気温がかなり高く、向こう1か月の気温は高くなる見込み。降水量は多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 九州北部地方（山口県含む）では、6月21日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+1.8℃以上） 6月15日までの1週間は、気温がかなり高い状態が続いており、今後も1週目から2週目にかけて、かなりの高くなる見込み。（福岡管区気象台 6月16日発表） 	180,526	▲ 1,944	▲ 1.1	178,582	172,300	95
熊本	同上（福岡管区気象台 6月16日発表）	187,293	▲ 2,017	▲ 1.1	185,277	171,500	97
宮崎	<ul style="list-style-type: none"> 九州南部地方の6月18日～7月17日の1か月間は、期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みで、向こう1か月の気温は高い見込み。降水量はほぼ平年並、降水量は平年並が多い見込み。 「高温に関する異常天候早期警戒情報」 九州南部地方では、6月21日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる見込み。（7日平均地域平年差+1.8℃以上） （鹿児島地方気象台 6月16日発表） 	92,603	▲ 997	▲ 1.1	91,606	74,700	93
鹿児島	同上（鹿児島地方気象台 6月16日発表）	109,887	▲ 1,183	▲ 1.1	108,704	95,700	95

参考資料:

平成28年度産米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)
平成27年度産水陸稲の収穫量(農林水産省)
平成28年度病害虫発生予報第3号(農林水産省)

農作物の生育状況 6月15日現在(北海道 6月20日)、農作物生育状況 6月15日現在(北海道空知総合振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道石狩振興局 6月20日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道後志総合振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道胆振総合振興局 6月20日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道日高振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道渡島総合振興局 6月20日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道檜山振興局 6月20日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道上川総合振興局 6月20日)、農作物生育状況調査の概要 6月15日現在(北海道留萌振興局 6月20日)
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月20日)、
病害虫発生予察情報第3号6月予報(北海道病害虫防除所 5月30日)、
H28水稲作況(6月10日現在)(青森県産業技術センター農林総合研究所 6月10日)、6月5日現在田植え進捗状況(青森県 6月7日)、
平成28年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(青森県病害虫防除所 5月31日)、
平成28年度水稲生育定期調査結果No.2(6月15日現在)(岩手県農業研究センター 6月17日)、平成28年度水稲の生育状況(6月15日調査速報)(岩手県 6月16日)、
平成28年度農作物病害虫防除速報No.6水稲編-2(岩手県病害虫防除所 6月13日)、平成28年度病害虫発生予察情報発生予報第3号(岩手県病害虫防除所 6月1日)、
平成28年度水稲の生育状況について(6月20日現在)(宮城県農林水産部 6月21日)、平成28年度発生予察情報発生予報第5号-水稲-(宮城県病害虫防除所 6月22日)、
仙台稲作情報第1号(宮城県仙台農業改良普及センター 6月13日)、平成28年度稲作情報第2号(宮城県亶理農業改良普及センター 6月13日)、
平成28年度大崎稲作情報第2-2号(宮城県大崎農業改良普及センター 6月13日)、平成28年度産山南稲作情報(第2号)(宮城県大河原農業改良普及センター 6月9日)、
稲作情報Vol.2(本吉農業改良普及センター 6月10日)、栗原の稲作通信平成28年第2号(宮城県栗原農業改良普及センター 6月14日)、
登米地域の稲作通信第3号(宮城県登米農業改良普及センター 6月10日付)、平成28年度産美里地区の稲作情報第2号(宮城県美里農業改良普及センター 6月14日)、
生育状況の情報(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」http://www.e-komachi.jp/ 6月17日)、
平成28年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第2号(6月予報)(秋田県病害虫防除所 5月27日)、
米づくり技術情報NO.4(オールやまがた米づくり日本一運動本部 県産米ブランド推進課 6月20日)、
酒田・飽海日本一米づくり情報第5報(酒田農業技術普及課 6月14日)、酒田飽海つや姫情報第3号(酒田農業技術普及課 6月1日)、
つや姫通信第1号(村山総合支庁農業技術普及課 6月13日)、おいしい米づくり情報(村山総合支庁農業技術普及課 6月13日)、
稲作だより第3号(村山総合支庁産業経済部北村山農業技術普及課 5月26日)、稲作だより第6号-本田初期編(最上総合支庁農業技術普及課 6月15日)、
水稲直播情報第3号(庄内総合支庁農業技術普及課 6月14日)、つや姫だより第4号(庄内総合支庁農業技術普及課 6月17日)、
おきたま米づくり情報No.4(置賜総合支庁産業経済部農業技術普及課 6月7日)、
おいしい米づくり情報第4号(村山総合支庁農業技術普及課 5月11日)、稲作だより第3号(村山総合支庁西村山農業技術普及課 5月10日)、
おきたま米づくり情報No.3(置賜総合支庁産業経済部農業技術普及課 5月6日)、つや姫だより第1号(最上総合支庁農業技術普及課 4月22日)、
平成28年度農作物有害動物発生予察情報発生予報第3号(6月)(山形県病害虫防除所 6月1日)、
主要な農作物の生育情報平成28年度第3号(福島県農林水産部 6月16日)、平成28年度病害虫発生予察情報発生予報第2号(5月)(福島県病害虫防除所 5月27日)、
農研速報(水稲の生育状況)(6月20日現在、水戸市)(茨城県農業総合センター 6月21日)、(6月6日現在、龍ヶ崎市)(茨城県農業総合センター 6月14日)、
病害虫発生予察注意報第1号(茨城県病害虫防除所 6月9日)、
病害虫発生予報5月号(茨城県病害虫防除所 4月28日)、平成28年度病害虫発生予報第2号(栃木県農業環境指導センター 5月20日)、
平成28年度病害虫発生予察注意報第1号・植物防疫ニュース(速報No.3)(栃木県農業環境指導センター 6月1日)、
平成28年度水稲生育診断予測事業速報No.2(栃木県農政部 6月10日)、平成28年度病害虫発生予報第3号(栃木県農業環境指導センター 6月17日)、
平成28年度水稲の生育概況vol.1(埼玉県農業技術研究センター 6月8日)、
平成28年度病害虫発生予報第2号(6月予報)(埼玉県病害虫防除所 5月27日)、水稲の生育状況と当面の対策第3報(千葉県農林水産部 6月17日)、
平成28年度病害虫発生情報第1号(千葉県農林総合研究センター 6月9日)、平成28年度病害虫発生予報第3号(千葉県病害虫防除所 6月9日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第2号)(新潟県農林水産部 6月21日)、
岩船米生育速報(6月20日現在)(村上農業普及指導センター)、
新発田地域水稲生育速報No.3(新発田農業普及指導センター 6月20日)、新潟稲作速報No.3(新潟農業普及指導センター 6月20日)、
FAX稲作速報No.7(三条農業普及指導センター 6月20日)、水稲生育速報(長岡農業普及指導センター 6月20日)、
南魚沼地域水稲生育速報(南魚沼農業普及指導センター 6月20日)、
稲作管理情報3(柏崎農業普及指導センター 6月20日)、平成28年上越地域米水稲生育速報(6月20日)(上越農業普及指導センター 6月20日)、
水稲生育速報No.3(新津農業普及指導センター 6月20日)、水稲生育速報(巻農業普及指導センター 6月9日)、
平成28年度稲作生育速報No.2(佐渡農業普及指導センター 6月9日)、稲作情報(JA北魚沼・魚沼農業普及指導センター 6月1日付)、
平成28年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第3号(6月の発生予想)(新潟県病害虫防除所 5月31日)、
TACS情報第3号(富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月14日)、直播情報(第3号)(富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月17日)、
病害虫発生注意報第1号(富山県農林水産総合技術センター 6月21日)、病害虫発生予報第3号(富山県農林水産総合技術センター 6月1日)、
平成28年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-4号)(石川県農林総合研究センター 6月17日)、
病害虫発生予報第3号・注意報第1号(石川県農林総合研究センター 6月16日)、
稲作情報No.7(福井県 水田農業パネルアップ委員会技術普及部会 6月16日)、平成28年農作物病害虫発生予察予報第4号(福井県農業試験場 5月30日)、
平成28年作物技術普及情報第9号(松本農業改良普及センター)、
稲作ワンポイントアドバイス(No1)(JA長門大津、長門農林事務所農業部 6月11日)、
病害虫発生予報第3号(長野県病害虫防除所 6月15日)、
平成28年度水稲生育診断情報特別号「みずかがみ」総括情報「みずかがみ栽培だより」(滋賀県農業技術振興センター 6月16日)、
平成28年度水稲生育診断情報No.1(滋賀県農業技術振興センター 6月3日)、平成28年病害虫発生予報第5号(滋賀県病害虫防除所 6月21日)、
平成28年度兵庫県農業気象技術情報第2号(6月情報)について(兵庫県農政環境部 5月30日)、平成28年度病害虫発生予察予報第2号(兵庫県病害虫防除所 6月2日)、
平成28年度病害虫発生予報第3号(岡山県病害虫防除所 6月1日)、農作物病害虫発生予報6月(山口県病害虫防除所 6月1日)、
平成28年度農作物病害虫発生予察技術資料第2号(山口県病害虫防除所 6月20日)、
気象情報に基づく技術対策・作物(愛媛県農林水産研究所 5月31日)、病害虫発生予報(6月)(愛媛県病害虫防除所 5月30日)、
水稲の生育概況(平成28年度)、平成28年度における早期水稲の生育状況(5月25日時点)(高知県農業技術センター 6月1日)、
平成28年度病害虫発生予察予報第3号(6月)(高知県病害虫防除所 6月3日)、
平成28年度病害虫発生予察速報第1号について(福岡県病害虫防除所 6月1日)、
福岡県の主な農作物の生産状況(福岡県農林業総合試験場 4月15日)、平成28年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(熊本県病害虫防除所 5月3日)、
平成28年度宮崎産早期米産地情報(平成28年5月1日現在)・平成28年度産早期米生育状況(宮崎経済連ホームページhttp://www.miyazaki-cha.jp/kome/index.html 6月7日)、
平成28年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月30日)、平成28年度病害虫発生予報3号(鹿児島県病害虫防除所 5月30日)、
平成28年度技術情報第7号(鹿児島県病害虫防除所 6月6日)

北海道地方方向こう1か月の天候の見通し(札幌管区気象台)、東北地方方向こう1か月の天候の見通し(仙台管区気象台)、関東甲信地方方向こう1か月の天候の見通し(気象庁)、
北陸地方方向こう1か月の天候の見通し(新潟地方気象台)、近畿地方方向こう1か月の天候の見通し(大阪管区気象台)、中国地方方向こう1か月の天候の見通し(広島地方気象台)、
四国地方方向こう1か月の天候の見通し(高松地方気象台)、九州北部地方方向こう1か月の天候の見通し(福岡管区気象台)、九州南部・奄美地方方向こう1か月の天候の見通し(鹿児島地方気象台)
エルニーニョ監視速報(No. 285)(気象庁地球環境・海洋部 6月10日)